

国語 第6学年 相手や目的を明確にして、すいせんする文章を書こう

検討会の想定問答

指摘 1: グループでパンフレットを作る活動が中心になり、何の力を付けるのかが見えにくい。

返し: 中心はB(1)エ「引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること」。パンフレットは、限られた紙面に文章と図表を並べるので、何を入れて何を外すかを考える必要が出てくる。評価は、パンフレットの出来ばえではなく、担当ページの文章で、引用や図表をすすめる理由と結び付けて使っているかで見える。

指摘 2: 評価規準は何か。どこで見えるのか。

返し: 3観点で書いた。文末は国立教育政策研究所の参考資料に合わせ、知識・技能と思考・判断・表現は「～している」、態度は「～しようとしている」。知識・技能①は第5時の推敲の書き込み、②は第3時の割り付け表、思考・判断・表現①は第2時の取材カード、②は第4時の下書きと割り付け表、態度①は第1時の計画表と第6時の振り返りで見える。

指摘 3: 言語活動は何か。

返し: B(2)ア「事象を説明したり意見を述べたりするなど、考えたことや伝えたいことを書く活動」。すすめたい物のよさとその理由を、引用や図表を使って説明する文章を書き、グループでパンフレットにまとめる。

指摘 4: 個に応じた指導はどうするのか。

返し: 書くのが苦手な子には、取材カードから理由を選ばせ、「すすめる理由」「それが確かめられる引用か図表」「相手への一言」の三つの枠に書かせる。調べるのが苦手な子には、先生が学校図書館の本や資料を何冊か用意しておく。早く書けた子には、相手を変えたら言葉をどう言いかえるかを考えさせる。第3の1(9)の「困難さに応じた指導内容や指導方法の工夫」に当たる。

指摘 5: ICTは使わないのか。

返し: 使う場面は三つ。材料を集める時のインターネットでの検索、表やグラフを作る時の表計算や作図、パンフレットの割り付けを端末で行って班で同時に編集すること。第3の2(2)の「コンピュータや情報通信ネットワークを積極的に活用する機会」に当たる。ウェブサイトから引用する時は、サイトの名前と見た日を書かせる。端末が無ければ、手書きと切り貼りで同じ活動ができる。

指摘 6: 引用や写真の使い方で、気を付けることは何か。

返し: 引用はかぎでくくる、出典を書く、引用した部分を変えない、自分の考えの方を中心にする、の四つを守らせる。写真や図は、自分で撮った物・作った物か、使ってよいと示された物を使い、出どころを書かせる。B(1)エの「引用したり」を指導する時の基本で、第3の2(3)の学校図書館の活用と合わせて、本の探し方と出典の書き方も確かめる。

指摘 7: 取り上げる物は教科書の例どおりでなければならないか。

返し: 教科書の例は選ぶ時の手がかりで、学級や地域に合わせて変えてよい。地域の行事や場所、学校図書館の本など、子どもが材料を集めやすく、すすめる相手がはっきりする物を選ぶと、B(1)アの、目的や意図をはっきりさせて書くことを選ぶ学習になる。教材の選び方は第3の3(1)の「言語活動が十分行われるよう教材を選定する」に沿う。

指摘 8: 6時間でパンフレットまで作れるのか。

返し: 6時間は光村図書出版の年間指導計画例の配当（書くこと6時間）に合わせた。材料集めに時間がかかる時は、第2時の調べる活動を学校図書館の時間や家庭での取材と重ね、清書と製本は朝の時間などに回す。分担を早く決め、一人が書くのは一ページにすると、時数の中で書き終わられる。

指摘 9: 発問が多すぎないか。

返し: 本時の中心発問は「あなたのすすめる理由を確かめられる引用や図表は、どれですか」の一つ。読み比べの問いは工夫を見付けるための入り口で、全体には中心発問とめあてだけを板書する。(1)アの言葉の働きは、第3の1(3)にあるとおり、書くことの指導を通して指導するので、別の発問は立てない。

指摘 10：板書はどう使うのか。

返し：先生の作った文章AとBを並べ、Bの工夫を三つの観点にまとめて、Bの該当する所と線で結ぶ。観点はそのまま推敲の観点にもなるので、第5時まで掲示しておく。子どもの下書きから出た「外した方がよい例」も残り、図表や写真を選ぶ時の例にする。

指摘 11：振り返りは何を書かせるのか。

返し：「使った工夫と、それで相手に伝わること」と「友達の下書きで参考にしたいこと」の二つ。二つ目は第6時の読み合いで、B(1)カの「文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けること」に生かす。

指摘 12：学習指導要領のどこに書いてあるのか。

返し：第2〔第5学年及び第6学年〕2内容B書くこと(1)ア・エ・オ・カと(2)ア、〔知識及び技能〕(1)ア・カ、学年の目標(2)(3)。原文は授業の設計図の「学習指導要領のどこに書いてあるか」の欄に載せた。

AIが作成した授業案です。授業での検証は未実施です。自校の教材・年間計画・学級の実態に合わせて確認してください。



Threads「三重でAI使うなら」(@mie_ai_katsuyo)
https://www.threads.com/@mie_ai_katsuyo

LINEオープンチャット
みえ先生ラボ

